

2013-14 ROTARY INTERNATIONAL DIST. 2710



ガバナー月信

Vol. 11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014年 5月号

SHIMONOSEKI ROTARY CLUB



Governor's Message

『ポリオ・プラス』

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区ガバナー

沖田 哲義

GOVERNOR: Tetsuyoshi Okita

地区内ロータリアンの皆さん、今日は。

今月は特別月間ではありません。1年間を通して、特別月間でない月は、年度初めの7月と5月の今月のみです。そこで、今月は、自由にテーマを選んで私自身の意見を述べたいと思います。

そのテーマは「ポリオ・プラス」です。このようなテーマを選んだ理由は、以下のとおりです。

私の子どもの頃は、日本は未だポリオの常在国であり、私の周りの子どもの中にも、これに罹患した子どもたちがかなりいました。私のいとこの一人もそうでした。ちなみに、その当時は、ポリオとは言わず、小児麻痺と言っていたように思います。

ところが、いつの間にやら日本からポリオがなくなってしまいました。これは、ポリオワクチンの摂取が普及したからだだと思います。そうなりますと、私たちは、ポリオの流行を遙か遠い昔の出来事のように思うようになり、殆ど関心を示さなくなったのです。このため、私たち日本のロータリアンも、国際ロータリーとロータリー財団が、ポリオ撲滅を最優先活動として取り組んでいることに、大きな「違和感」を感じるようになりました。勿論、私自身もガバナーノミニーになるまではそうでした。

その後ガバナーノミニーやエレクトになり、ロータリー研究会等に出席したりしますと、私自身の違和感が徐々になくなりました。その理由と経過は、以下のとおりです。

まず、第1にロータリーには国境がないという点です。ということとは、我が町も世界の一部であり、ナイジェリア、パキスタン、ア

フガニスタン(いずれもポリオウイルスの常在国であり、しかも常在国は、この3カ国にまで減少しました。)も、単にこの我が町の延長線上に過ぎないということなのです。

第2に、世界はどんどん狭くなっているという点です。交通手段の発達により、世界はどんどん狭くなっており、たとえどんなに遠い地であっても、地球上のどこかにポリオが存在する限り、日本も含め全ての非常在国がその脅威にさらされることになるのです。私たちの孫やひ孫を、このような脅威にさらすことは絶対にできません。これが私たち世代の責務です。

第3に、ポリオ撲滅が終盤戦(エンドゲーム)にきているという点です。国際ロータリーは1985年にポリオプラスプログラムを策定し、ポリオ撲滅運動に乗り出しました。実は、これがロータリーの国際奉仕を含む対外的活動のターニングポイントになったといわれているのです。その後、ロータリーの対外的活動が大きく変化し、様々な対外的活動を行うようになりました。そして、遂にロータリー財団の「未来の夢計画」まで辿り着いたのです。

話をポリオに戻しますと、1985年当時、毎年約35万人の子どもたちがポリオに罹患し手足を不自由にさせていました。しかしその後、ロータリアンとパートナー団体の努力により、2012年には223件の発症例にまで減少しました。これは99%の減少といわれるものです。ちなみに、1988年以来、ポリオ撲滅プログラムに約100億ドルが費やされてきました。それでも、ポリオ撲滅の目標である2018年までには、更に55億ドルが必要となっています。この必要額は、現在まで費やした額の半分以上に相当します。一般的に、このようなウイルス撲滅のプログラムでは、最終段階が最も困難であり、更に多くのリソースが必要となるといわれています。ところが、現段階では、上記55億ドルのうち15億ドルが不足しています。(P2へつづく)



- ガバナーメッセージ/目次 P1
- RCC地区大会報告 P2
- G6・G7 合同IM報告 P3
- G2 IM報告 P3
- 下関中央RC奉仕事業報告 P4
- 会長エレクト研修セミナーおよび地区チーム研修セミナーの報告 P5
- 次年度地区大会広告 P6
- 会員増減・出席率 P7
- 新入会員紹介/物故者への哀悼/文庫通信/奥付 P8



(表紙より)私たちの国際ロータリーは、ポリオプラスプログラムを必死で実行してきたお陰で、国連等も含め、世界的な評価を受けました。このため、ビル・ゲイツ財団も、2013年から18年までの間、我々ロータリーの寄付の2倍を出すと約束しています。今、私たちがロータリーのポリオプラスプログラムの実行を減退させれば、今までの評価が台無しになるだけでなく、それ以上に大きな非難を受けることになります。

こういう状況ですから、昨年1月の国際協議会でも「エンド・ポリオ・ナウ (End Polio Now)」(ポリオ撲滅まで「あと少し」)一色でした。朝8時半から会議が始まるの

ですが、最初に皆(約1,500人くらい)でエンド・ポリオ・ナウの大合唱をします。そして休憩時間等ことあるごとにこれを行います。本当に驚きました。しかし、こうしたものが、私の違和感を完全に消滅させたのです。

私たちロータリーのポリオプラスプログラムの完遂は、ポリオが完全に撲滅したという、人類にとっての疾病撲滅のための一大事業であるとともに、ロータリーの国際的評価を更に高めるための一大事業でもあるのです。

こういう次第ですから、皆さん、「あと少し」がんばりましょう。



RCC地区大会報告

2013-14年度

国際ロータリー第2710地区 地区社会奉仕委員長 山本 修司

2014年2月15日(土)、広島サンプラザにおいてRCC地区大会が広島廿日市ゆうほRCCをホストクラブとして、RCCメンバー及び提唱RCメンバー参加のもと盛大に開催されました。

R.C.C.はRotary Community Corpsの略称で、ロータリー地域社会共同隊と訳されます。地域に密着した奉仕活動を目的とし、ロータリークラブの提唱で結成される団体です。隊員はロータリアン以外の男女で、ロータリーの奉仕の精神を信奉し、自分達が生活している地域の役に立ちたいと思っている人たちです。地域社会のニーズに合った継続的なボランティア活動を展開し、自らが問題を解決できるように、自主自助を推進します。

今大会には、「下関西RCC」「防府あすなろRCC」(防府RC提唱)「柳井西RCC」「広島廿日市ゆうほRCC」「東広島こころ塾」(西条RC提唱)の5つRCCが参加しました。

広島廿日市ゆうほRCC船木会長の挨拶、提唱RCである広島廿日市RCの久保田会長の挨拶、来賓を代表して沖田ガバナーの祝辞があり、グループ7の井内ガバナー補佐、地区社会奉仕部会の廣安委員(福山南RC)と私も紹介されました。

三原市立南方小学校の東 佐都子校長による、テーマ「子ども達へ」サブタイトル「つないでほしい私達の文化」①食をつなぐ②言葉をつなぐの講演は、私達にとって考えさせられる内容のもので、大いに感動しました。



食については、お箸を使わず、食べ残しの多い子供たちに、食の大切さを伝えるため、10月の4日間、給食を止めて子供たちに食材から作らせるという実際の経験談を話されました。家から何も持ってきてはならない、お金は一円もない、先生たちは手伝わないという条件で、春から「総合的な学習の時間」を利用して、子供たちは自分の頭で考え、行動を起こしていました。余っている野菜の苗をもらい育てる等、近所の人たちの協力を得ながら、壁にぶつかり、失敗しながらも進めていき、当日の給食で、普段は野菜を残す子供たちがおいしそうに食べたという話は、まさしく食育だなと感じました。

言葉については、敬語など日本語を正しく使うことを強調されました。また、最近のテレビ番組を見て、有名大学出身者でも漢字の書き順がでたらめなことを嘆いておられました。

昼食の後、アトラクションとして梅田由晃様他による津軽三味線と民謡の披露がありました。

午後は、各RCCによる活動状況の報告がありました。それぞれの地域に密着した奉仕活動を展開しており、心強く思いました。

最後に沖田ガバナーから講評をいただき、全員で「手に手つないで」を歌い、来年の柳井で開催される地区大会での再会を期して散会しました。





グループ6・グループ7合同IM報告

2013-14年度 国際ロータリー第2710地区

グループ7 ガバナー補佐 井内 康輝 グループ6 ガバナー補佐 小城 林勲

去る2014年3月2日(日)、リーガロイヤルホテル広島にて、グループ6・7合同のインターシティ・ミーティングを開催致しました。当日は沖田哲義ガバナー、筒井藪三パストガバナー他のご来賓をお迎えし、14ロータリークラブから約500名のロータリアンのご参加をえました。

テーマにつきましては、2013年5月に行われました“世界平和フォーラム広島”で語られました“Peace begins with you”の精神は、今後もち続けていくことが肝要であるとの想いを受けて、“変貌する社会の中で近未来の平和を考える～ロータリアンのできる～”としました。基調講演とロータリアンによるパネルディスカッションの形式をとり、講演者としては、2013年の“世界平和フォーラム広島”のコーディネーターの中から3名の先生方をお招きしました。佐渡紀子先生(広島修道大学准教授)には“国家の果たす平和達成への役割”、片野淳彦先生(東北アジア地域平和構築講座運営委員)には“平和の文化とアイデンティティ”、山本達也先生(清泉女子大学准教授)には“情報通信技術と現代社会”と題して、それぞれ講演をお願いし、その後のディスカッションにパネラーとしてご参加いただきました。



佐渡先生からは、国家を介さない個人の交流が容易な時代にあっては、外交を国家が独占することは困難であること、国家は人々を守る存在から人々の安全を脅かす存在になること、片野先生からは、現代は人間が生まれもった差異をめぐる争い、いわばアイデンティティ戦争が顕在化していること、身近な暴力による死が増えているのは家族や交友関係などのアイデンティティの日常的形成のプロセスが変化していること、山本先生からは、ICTの発達によってサイバー戦争がおり、プライバシーの侵害も頻発し、政治的な決定も難しくなっていること、などが指摘されました。

フロアからは多くの質問が出されましたが、中でも、日本人にナショナリズムの傾向がでていることへの危惧、平和とはいかに寛容であるかではないか、民主主義は平和に貢献しているか、などが語られ、パネラーからはロータリアンに対しては、会話ではなくたくさんさんの対話(自分とは生き方の違う人と話すこと)をしてほしい、との希望が述べられました。

以上の如く、今回のIMは現代社会の平和構築に関わる問題点について、参加者も加わった議論ができたことは大変意義深いと考えております。これを契機として、ロータリーの中で世界の平和構築に資する活動が活発になることを祈念してやみません。

最後に、今回のIMの実施にご尽力くださいましたIM実行委員長、長沼毅様をはじめとする広島南ロータリークラブの皆様には厚く御礼申し上げます。



グループ2のIMを終えて

2013-14年度

国際ロータリー第2710地区 グループ2 ガバナー補佐 脇 和也

グループ2のIMは、3月16日に宇部市内のホテルで開催し、グループ内7クラブから会員167人が出席して交流を深めるとともに面識を広めた。とくに2015-16年にはグループとして金子信パストガバナー以来、8年ぶりにガバナーを輩出することから、東良輝ガバナーノミニー所属クラブの宇部西の例会場を使用するなど、グループ内の結束を図ることに力を注いだ。

沖田哲義ガバナー、金子克也ガバナーエレクトを来賓に迎え、午後1時半に開会。セレモニーを皮切りに講演会とパネルディスカッションを通じてロータリー精神を学んだ。

講演会では山口大学



時間学研究所長の進士正人教授を講師に迎え「ロータリーと時間学」の演題で1時間、話を聞いた。同研究所は山大が全国に先駆け新たな研究領域として開設したもので、経営者であるロータリアンにとって有意義な時間の使い方などについてアドバイスがあった。

引き続き行われたパネルディスカッションは、主としてグループ内の情報交換を通じて、お互いのクラブを知り合うことを主眼に意見を交わした。パネリストは各クラブの会長及び会長エレクト7人で、沖田ガバナーや金子エレクトからのアドバイスを受けなが

ら各クラブの日ごろの運営状況や特徴的な奉仕活動などについて報告した。

また今年度が夢計画実行の初年度であることから、同計画に対する意見交換を行ったが、各パネリストから申請しても認められる事業範囲が窮屈で、「夢計画というには現実的」などという声も上がった。

沖田ガバナーの総評の後、懇親会に移り、金子エレクトの乾杯の音頭で参加者が和やかに懇談。最後はガバナー補佐エレクトで美祿クラブの小松一雄会長による万歳三唱で閉会した。



火の山公園 トルコチューリップ植え付継続事業について

下関中央 RC 奉仕プロジェクト委員長 川崎 啓司

この事業は、前年度会長の「お金を出さずに奉仕がしたい！できれば植栽を考えてもらって、環境にやさしく、子供達に花をめぐる心を育み、地域社会に貢献できる事業を、企画立案して下さい」と奉仕プロジェクト委員会にふられた事から始まりました。インターネットで下関市を検索したら、トルコチューリップの植え付ボランティアにヒットし、市の担当の方に聞けばまだ募集中という事なので申し込みをかけました。

当初は、穴を掘って植えるだけと、たかをくくっていましたが、傾斜の中、土は固いし穴を掘るだけでも、中腰で足に負担がかり、小雨の中厳しい作業でありました。



そうした中花見の時期になり、昨年4月に国民宿舎海峡ビューで花見例会を開催しました。

関門海峡と関門大橋のシチュエーションの中、桜とチューリップの花の開花の状景をパワーポイントでスライド上映した時、あまりの美しさに感動し、植え付の苦勞がいっぺんにふき飛んでしまいました。

当然これを見て、今年度会長と継続委員長の提案で今年度も継続事業と取決め、平成25年10月26日に、前年度しんどかったのも、数は力と会員・家族・米山奨学生とその友人総勢23名で植え付のボランティアに参加しました。



年が明け、平成26年4月5日に源平荘で花見例会を開催しました。

当日はあいにくの雨で、現地での花見はかないませんでした。広報委員による、途中の経過から開花までの写真をパネルに作成してもらい、例会場で展示し会員の目を楽しませてくれました。

前年度もそうですが、実際現地の上から見ますと、桜のピンク、チューリップの白・赤・黄・紫、海の青さ空の青さと雲の白さ、本当にこれこそ絶景です。



球根の段階から植え付をし達成感というか充実感、はんばないものがあり、胸が熱くなります。こういう感動を子供達に与えていく事が、我々大人の使命だと思わずにはいられません。



この事業も今年で2年目になりますが、次年度も継続する事が決定しました。



この事業については、お金はかかりません。体一つもって球根を植えるだけです。そして開花時の充実感を知らない人に教えてあげたいのです。心が満たされていく気持ちをあじわってほしいのです。



そういう奉仕の気持ちをもって、下関中央RCの継続事業は続いています。



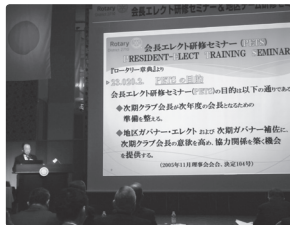
会長エレクト研修セミナーおよび 地区チーム研修セミナーの報告

2014-15年度

国際ロータリー第2710地区 代表幹事 **高橋 寛登**

2014年3月15日午前10時から、みだしのセミナーが開催されました。パストガバナー、ガバナー、ガバナーノミニ、ガバナーノミニデジグネート、ガバナー補佐、地区代表幹事、会計長、地区大会実行委員長ご臨席のもと、次年度のガバナー補佐幹事、沖田年度の地区委員、金子年度の地区委員、東年度の地区委員、地区内74クラブの会長エレクトのご出席を頂き、金子ガバナーエレクトの点鐘で開会されました。

ロータリーソング「奉仕の理想」の斉唱、金子ガバナーエレクトの挨拶と来賓・役員の紹介、前田 茂次年度地区研修リーダーの挨拶、沖田哲義ガバナーの挨拶の後、金子ガバナーエレクトの「次年度RIテーマと地区運営方針」が映像で紹介されました。



第1 2014-15年度のRIテーマは、“LIGHT UP ROTARY”、日本語訳は、“ロータリーに輝きを”です。ホアン会長は、次のように述べられました。『私達は、皆ロータリーファミリーの一員であり、この一世紀の間に、真に国際的なボランティアのネットワークを作りあげた。そして、違いを乗り越えて互いに手を結べば、驚くべき事を達成できることを実証した。これからも、ロータリアンは、高い奉仕目標を掲げ、ロータリーファミリーを拡大する必要がある。2014-15年に、ロータリーに奉仕し、皆でこれらを分かち合い、強力なクラブを作り地域社会にロータリーの存在を高め、ロータリーに輝きをもたらしましょう！』

第2 ゲイリー・ホアンRI次年度会長の強調事項としては、

- 1、ロータリーの奉仕をみんなで分かちあい、クラブを強化し地域におけるロータリーの存在感を高める。
- 2、会員数130万人の達成、地元でロータリーデーの開催
- 3、ポリオの撲滅



第3 地区ガバナー信条及び運営の重点方針と目標として、

- 1、ガバナー信条は、「奉仕を学び、ロータリーを楽しもう！」とする。
- 2、重点運営方針としては
 - ①職業奉仕の学習と実践
 - ②会員増強
(各クラブ純増1名以上、純増達成地区)
 - ③積極的な奉仕活動
 - ④学び楽しむ地区大会
 - ⑤東日本被災地への継続支援
 - ⑥楽しいロータリーライフ
(ロータリーデーへの参加・協力)

3、目標

- ①会員増強(純増1名) SAKUJI 作戦の最終年度、②RI会長賞へのチャレンジ、③ロータリー財団支援、④米山記念奨学会支援、⑤RI人頭分担金、⑥地区関係負担金などの説明がなされました。

第4 地区内主要行事

PETS&地区チーム研修セミナー、地区研修協議会、地区指導者育成セミナー、地区大会(記念ゴルフ大会、本会議1日目、本会議2日目)の案内などをされました。

第5 海外関連主要行事

RI3690地区大会(姉妹地区)

2015年4月又は5月 未定

RI国際大会

2015年6月6日～10日 ブラジル・サンパウロ

以上で報告を終わります。





2014-2015年度 国際ロータリー第2710地区 地区大会

地区大会in福山



ばらのまち福山



福山藩初代藩主
水野勝成



潮待ちの港
鞆の浦/常夜燈



ばらのまち福山
イメージキャラクター「ローラ」



福山城



弘法大師の開基と伝えられる
国宝塔/明王院



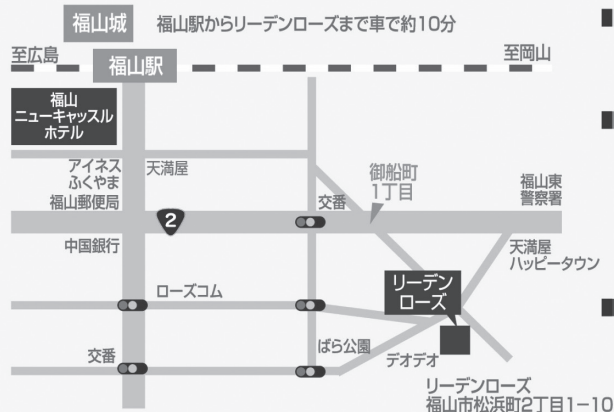
中世民衆の町「草戸千軒町遺跡」
広島県立歴史博物館

会員一同福山で
お待ちしております。

開催期間

2014年

10月17日金 18日土 19日日



1日目 10月17日 金

記念ゴルフ大会 / 松永カントリー倶楽部

2日目 10月18日 土

大会諸委員会 歓迎昼食会 / 福山ニューキャッスルホテル
会長幹事会 基調講演
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
日韓交流パーティー

3日目 10月19日 日

本会議 / 福山リーデンローズ
記念講演
大会懇親会 / 福山ニューキャッスルホテル

国際ロータリー第2710地区
2014-2015年度ガバナー

金子 克也

地区大会
事務局

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町5-14-21 南オフィスワンライン内 TEL:070-5301-2369
E-mail:[クラブ対外用]info@rid2710taikai.com

ホストクラブ 福山南ロータリークラブ コホストクラブ

福山ロータリークラブ 松永ロータリークラブ 府中ロータリークラブ 鞆の浦ロータリークラブ
福山北ロータリークラブ 福山東ロータリークラブ 福山西ロータリークラブ
丸之内ロータリークラブ 福山赤坂ロータリークラブ

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2710地区 2013-14年度 74RCの会員増減・出席率

2014年3月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	88.79	91.2	32	29	4	1	4	-3
	下 関	5	78.26	80.67	47	47	2	4	4	0
	下関中央	2	84.62	81.58	30	27	4	1	4	-3
	下 関 東	4	77	85.01	46	49	0	6	3	3
	下 関 北	4	87.42	92.26	40	42	0	3	1	2
	下 関 西	4	79.86	81.81	38	37	1	1	2	-1
	油 谷 湾	4	97.92	99.34	13	12	0	0	1	-1
計			84.84	87.41	246	243	11	16	19	-3
グループ2	萩	4	92.71	93.18	51	52	0	2	1	1
	萩 東	4	100	99.57	22	21	0	0	1	-1
	美 祢	4	77.66	76.58	26	25	0	1	2	-1
	小 野 田	4	85.97	85.49	41	41	2	2	2	0
	宇 部	3	92.34	89.58	49	51	2	6	4	2
	宇 部 東	4	66.07	69.25	17	16	2	0	1	-1
	宇 部 西	4	92.24	91.92	53	50	1	3	6	-3
計			86.71	86.51	259	256	7	14	17	-3
グループ3	防 府	4	85.85	88.44	51	52	0	5	4	1
	防 府 北	4	75	79	20	19	2	2	3	-1
	防 府 南	4	80.41	80.81	33	36	8	4	1	3
	山 口	3	94.76	95.02	55	56	3	5	4	1
	山口県央	4	86.66	94.7	32	33	1	2	1	1
	山 口 南	3	91.43	87.36	38	39	4	2	1	1
計			85.68	87.55	229	235	18	20	14	6
グループ4	光	5	89.57	91.28	48	45	0	1	4	-3
	周 南 西	4	91.28	93.93	43	45	5	3	1	2
	徳 山	4	92.25	94.75	45	51	1	9	3	6
	徳山セントラル	5	86.67	86.49	31	30	1	1	2	-1
	徳 山 東	4	96.14	95.95	53	52	0	0	1	-1
計			91.18	92.48	220	223	7	14	11	3
グループ5	岩 国	4	79.24	77.34	62	62	0	4	4	0
	岩国中央	4	88.71	89.65	40	41	3	2	1	1
	岩 国 西	3	89.58	85.93	56	55	3	3	4	-1
	柳 井	3	100	99.63	33	33	2	5	5	0
	柳 井 西	4	100	98.59	28	28	2	3	3	0
計			91.51	90.23	219	219	10	17	17	0
グループ6	広 島	3	99.71	99.46	106	117	0	14	3	11
	広島安芸	4	99.34	98.15	39	40	2	1	0	1
	広島安佐	3	82.54	85.78	20	21	1	2	1	1
	広 島 東	4	98.26	98.32	90	90	4	5	5	0
	広 島 北	3	100	100	80	83	0	5	2	3
	広島陵北	4	98.64	98.89	46	55	3	9	0	9
グループ6	大 竹	3	83.34	89.5	31	33	0	3	1	2
	計		94.55	95.73	412	439	10	39	12	27

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	3	100	99.96	69	71	9	7	5	2
	広島廿日市	5	87.03	90.3	37	37	1	0	0	0
	広島城南	3	97.08	98.4	55	57	2	2	0	2
	広 島 南	3	100	99.62	89	91	0	3	1	2
	広島東南	5	100	100	86	85	9	4	5	-1
	広島西南	4	100	100	57	63	4	9	3	6
	広 島 西	4	100	100	78	79	0	3	2	1
計			97.73	98.33	471	483	25	28	16	12
グループ8	江 田 島	4	83.99	91.21	19	19	0	2	2	0
	東 広 島	4	99.88	99.73	30	31	2	1	0	1
	東広島21	5	72.94	80.94	18	18	5	1	1	0
	呉	4	90.83	91.07	68	72	1	7	3	4
	呉 東	4	92.52	92.77	33	28	0	1	6	-5
	呉 南	4	91.58	92.18	55	55	4	3	3	0
	西 条	4	100	100	40	38	1	1	3	-2
計			90.25	92.56	263	261	13	16	18	-2
グループ9	広島空港	4	88.16	84.86	21	22	3	2	1	1
	因 島	4	83.54	86.96	24	27	1	3	0	3
	三 原	4	90.48	93.53	63	65	2	2	0	2
	尾 道	3	85.15	85.38	70	74	3	5	1	4
	尾 道 東	4	90.21	90.79	50	50	0	2	2	0
	瀬 戸 田	4	87.5	87.5	7	8	0	1	0	1
	竹 原	4	86.63	89.61	35	33	4	1	3	-2
計			87.38	88.38	270	279	13	16	7	9
グループ10	府 中	4	91.96	85.3	33	32	0	0	1	-1
	福 山	3	93.22	95.82	74	78	0	12	8	4
	福 山 東	4	95.35	90.93	50	50	3	2	2	0
	福山丸之内	4	97.73	97.87	34	33	1	0	1	-1
	鞆の浦	4	78.26	81.24	27	23	0	0	4	-4
	福山REC2710	5	97.14	97.86	27	28	4	4	3	1
	計		92.28	91.50	245	244	8	18	19	-1
グループ11	福山赤坂	4	79.85	76.02	42	44	4	2	0	2
	福 山 北	3	100	97.45	46	47	0	3	2	1
	福 山 南	4	83.83	83.48	58	61	2	4	1	3
	福 山 西	4	90.85	93.78	38	41	2	3	0	3
	松 永	5	88.14	90.4	46	49	2	3	0	3
計			88.53	88.23	230	242	10	15	3	12
グループ12	吉 舎	4	100	97.76	17	17	0	0	0	0
	三 次	4	81.56	77.11	40	40	0	2	2	0
	三次中央	5	85.91	92.27	44	44	5	0	0	0
	庄 原	4	87.04	90.07	35	33	4	1	3	-2
	東 城	4	80.95	85.71	21	21	1	1	1	0
計			87.09	88.58	157	155	10	4	6	-2
第2710地区計			89.55	90.37	3221	3279	142	217	159	58

新入会員紹介

 日浅 修二 下関RC 2014年3月10日 建築設計	 末永 久大 山口RC 2014年3月5日 刑事弁護士	 安富 國詞 山口RC 2014年3月5日 不動産開発	 片岡 章 山口県央RC 2014年4月1日 測量機器販売	 矢儀 圭司 山口県央RC 2014年4月1日 電気工事	 竹森 俊之 徳山RC 2014年3月6日 新聞発行	 蕪竹 昌弘 徳山RC 2014年3月13日 住宅販売	 正岡 道啓 徳山RC 2014年3月20日 造園業	 岡村 卓郎 岩国RC 2014年4月3日 電力供給	 土谷 治子 広島中央RC 2014年3月24日 病院
--	--	--	--	---	---	---	---	---	--

 新宮 勝則 広島中央RC 2014年3月24日 自動車小売	 久保 満 広島南RC 2014年3月28日 貨物自動車運輸	 渡辺 敬治 広島東南RC 2014年3月17日 ソフトウェア業	 上田 直治 広島西南RC 2014年3月4日 生損保代理業	 藤田 浩雅 呉RC 2014年3月6日 信用金庫	 高下 朋彦 呉南RC 2014年3月11日 機械設計	 河井 一郎 広島空港RC 2014年3月1日 管工事	 鶴田 秀樹 広島空港RC 2014年3月1日 電気器具販売	 山岡 照明 尾道東RC 2014年3月4日 自動車配布	 川崎 俊和 竹原RC 2014年3月13日 社会福祉施設
---	---	---	---	--	--	---	---	---	--

 塚本 亨 福山西RC 2014年3月4日 健康食品製造販売	 久田 数枝 福山西RC 2014年4月1日 キャリアコンサルタント	 佐藤 教夫 福山西RC 2014年4月1日 シール・ラベル印刷	 新入会員氏名 所属RC 入会日 職業分類
--	--	--	---

謹んで追悼の意を表します

 大竹RC 故 中村 正宣 殿 2014年 3月25日ご逝去(享年64歳) ■ロータリー歴 2002-03年度 創立40周年 会長 2006-07年度 IM副実行委員長 2012-13年度 創立50周年 副実行委員長 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー 米山功労者 ■職業分類 塗装	 柳井西RC 故 宇野 明 殿 2014年 3月18日ご逝去(享年78歳) ■ロータリー歴 2001-02年度 グループ3 ガバナー補佐 2011-12年度 副代表幹事 1999-2000年度 会長 ボール・ハリス・フェロー ■職業分類 不動産管理
--	---

文庫 通信

319号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。ホームページの「ロータリー文庫について」欄もご覧ください。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

■地区大会記念講演他より

戦国を生き抜いた知恵	細川 護熙	2013	7p	(D.2650地区大会記念誌)
はやぶさプロジェクトの成果・教訓	川口淳一郎	2013	4p	(D.2820地区大会記録)
日本人の持つべき国家観について	渡部 昇一	2013	11p	(D.2520地区大会記録誌)
世界の人々のために	緒方 貞子	2013	5p	(第11回日韓親善会議報告書)
これからの両国のきずな	山東 昭子	2013	5p	(第11回日韓親善会議報告書)
軍艦「筑波」ー偉大な航海(上)(下)	岡村 健	2013	23p	(福岡南RC月報)
「がんばらない」けど「あきらめない」	鎌田 實	2013	1p	(D.2840地区大会報告書)
これからの生き方	山田 法胤	2013	2p	(D.2700地区大会の記録)
人が動き街が動く ～私のリーダーシップ論	セーラ・マリ・カミングス	2013	21p	(D.2800地区大会記念誌)
平和と命	深川 純一	2013	20p	(第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
掃除実践60年の『人生と経営の哲学』	鍵山秀三郎	2014	10p	(D.2710地区大会特集号)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫 | 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03) 3433-6456 FAX: (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館: 午前10時~午後5時 休館: 土・日・祝祭日

お詫びと 訂正

ガバナー月信vol.10(4月号) P8「新入会員紹介」に以下の通り誤りがございましたので、お詫びして訂正申し上げます。
呉RC 新入会員 (誤) 中野 誠 ⇒ (正) 中野 誠吾

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F

TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>